

## 1 地域と学校の概況

光市は、山口県の南東部にあって、島田川の下流域を占めるとともに、周防灘に面する臨海工業都市である。

本校の校区は、市の中心部に位置し、南側は海岸線を含み、中央に国道188号線に沿った商店街を形成している。

光井地区は昭和初期まで純農村であったが、現在では、地理、政治、文化、産業のいずれの面からみても、光市の中心となっている。すなわち、市役所、警察署、郵便局、消防署、光高校、聖光高校、図書館、スポーツ館、スポーツ公園、総合体育館、スポーツ交流村、新日鐵住金ステンレス、武田薬品などが光井地区に所在するからである。したがって、地区住民の職業分布の範囲は広く、かつての農家はほとんどが兼業農家化している。



地区住民の学校教育に寄せる期待と関心度は高く、学校行事や地域の諸活動に対しても協力的で熱心である。学校は、国道188号線筋からおおよそ500m離れた高台に建てられ、教室の窓から周防灘が眺望できる極めて落ちついたよい環境にある。

1小1中の校区で、小学校と中学校は数百mの距離であり、小中連携教育ややまぐち型地域連携教育も推進しやすく、小中合同部会を5回、小中合同学校運営協議会を6回開催した。

現在の児童数357人、家庭数277世帯である。



## 2 学校経営方針

### (1) 教育目標

「明るく素直な心を持ち、自ら考え行動できるみつっ子の育成」

### (2) めざす児童像

- 元気のよい挨拶、返事ができる子
- 思いやりをもって誰にでも接する子
- 地域のために進んで働ける子

### (3) めざす学校像

- 児童が、楽しく学校生活を送れる魅力ある学校
- 児童が、意欲的に学校生活を送れる創意ある学校
- 家庭や地域とともに歩み、信頼される学校



(4) めざす教師像

- 児童に信頼される教師
- 家庭・地域と積極的に関わる教師
- 教育力向上に意欲的に取り組む教師



(5) 学校経営の方針

- 学校・家庭・地域が一体となって特色ある教育活動を進める。
- 確かな学力の定着・豊かな心の充実・健やかな体の育成に努める。

(6) 本年度の努力点

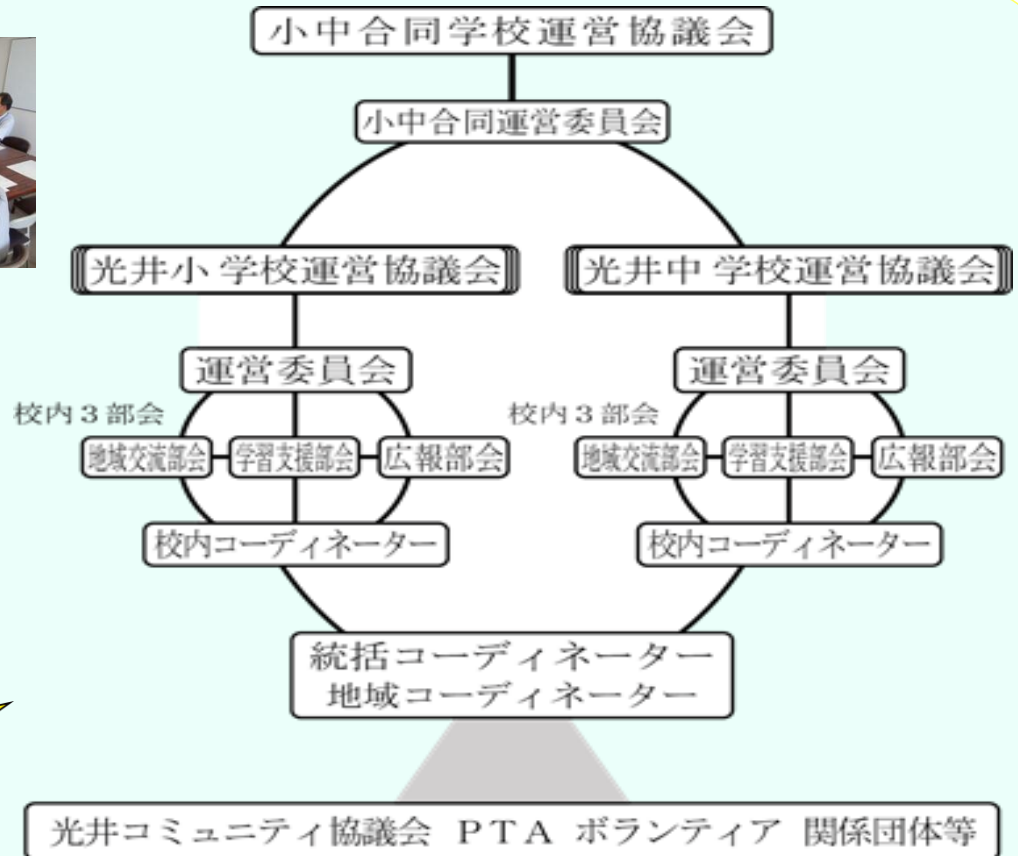
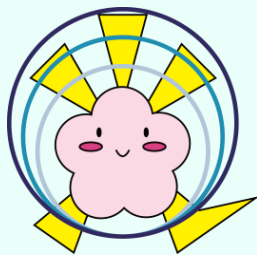
- 主体的・対話的で深い学びに向かう授業改善
- コミュニティ・スクールの活性化
- 「学び」と「育ち」をつなぐ幼保・小・中連携教育の充実



(7) チャレンジ目標

- あいさつ運動 ～ いつでも・どこでも・誰にでも ～
- 読書の充実 ～ 一人40冊読破をめざす ～
- 健康な生活 ～ 早寝・早起き・朝ごはんを心がける ～

3 みつい協育ネット (光井地区コミュニティ・スクール)



#### 4 P T A各部の概要

	主 な 活 動 内 容	
<b>執行部</b> 会長 副会長 監事 書記	<input type="checkbox"/> P T A総会実施（年間1回の予定） <input type="checkbox"/> 小・中学校P T A合同企画実施 <input type="checkbox"/> 常任・評議員合同会議実施（年間3回程度） <input type="checkbox"/> 光井公民館運営委員会関係 <input type="checkbox"/> 県P連指導者研修会参加	<input type="checkbox"/> 常任委員会実施（年間3回程度） <input type="checkbox"/> 市P連関係会議出席 <input type="checkbox"/> P T Aアンケート実施 <input type="checkbox"/> 県P連大会出席
<b>研修部</b> 各学年 1人	<input type="checkbox"/> 学年交流会実施 <input type="checkbox"/> 研修部だより発行 <input type="checkbox"/> 人権教育研修会に参加	<input type="checkbox"/> 教育講演会の実施、運営 <input type="checkbox"/> 新年度学年評議員選出とりまとめ <input type="checkbox"/> いどばた人権講座に参加
<b>広報部</b> 各学年 1人	<input type="checkbox"/> 会報「みつい」発行（年間3回の予定） 5月 205号 発行予定 10月 206号 発行予定 3月 207号 発行予定	
<b>保健部</b> 各学年 1人	<input type="checkbox"/> 学校保健委員会に運営補助 <input type="checkbox"/> 運動会への協力 <input type="checkbox"/> 給食参観実施 <input type="checkbox"/> カーテンの洗濯（依頼）	<input type="checkbox"/> 保健関係の講演会に参加 <input type="checkbox"/> 保健部だより発行 <input type="checkbox"/> 親子料理教室への協力 <input type="checkbox"/> 足ふきマットの作成（依頼）
<b>施設部</b> 各学年 1人	<input type="checkbox"/> P T Aバザー実施 <input type="checkbox"/> 奉仕作業（5・8月下旬） <input type="checkbox"/> 施設部だより	<input type="checkbox"/> ベルマークの整理 <input type="checkbox"/> ベルマークだより発行 <input type="checkbox"/> インクカートリッジの回収
<b>図書部</b> 各学年 1人	<input type="checkbox"/> お昼の読み聞かせ会実施 <input type="checkbox"/> 図書館運営補助 <input type="checkbox"/> 選書会実施	<input type="checkbox"/> 図書部だより発行 <input type="checkbox"/> 図書の整理
<b>生活部</b> 地区評議員	<input type="checkbox"/> 交通指導当番表作成 <input type="checkbox"/> 救急法講習会実施 <input type="checkbox"/> 運動会当日の交通立哨 <input type="checkbox"/> 夏休みのプール開放 <input type="checkbox"/> パトロール（夏・冬・春休み、普賢祭の街頭補導）	<input type="checkbox"/> 交通指導日誌の気づき欄の検討 <input type="checkbox"/> 生活部だより発行 <input type="checkbox"/> 登校班編成

#### 5 研究テーマについて

地域とともに育む ふるさとを愛し未来を切り拓く たくましいみついつ子の育成

平成27年度よりコミュニティ・スクールとしての歩みを始めたことを機に、光井小・中学校合同の学校運営協議会を開催し、学校・保護者・地域が連携・協働し、「主体的に未来を切り拓くことのできるたくましい光井っ子を育成しよう」「ふるさと光井に誇りと愛着を

もち地域貢献を果たせる光井っ子を育成しよう」「小中で一貫性のある活動を展開し、地域に根ざした誇れる学校にしていこう」の思いを共有し取組を進めている。PTAにおいてもその実現のために、めざす児童像やめざす学校像をしっかりと頭に置き、活動を展開していきたいと考えている。

## 6 活動内容

### (1) 「みついの日」のあいさつ運動の推進

321(みつい)と文字って、3日と21日を「みついの日」とし、毎月その日には、学校・地域・PTAが一緒になって、登校時あいさつ運動を展開している。子どもたちのあいさつの声も徐々に大きくなり、光井地区のあいさつの輪も広がっている。光井小学校のあいさつのチャレンジ目標は「いつでもどこでも誰とでも」であるので、更に目標に近づけるために、あいさつプラス1運動を展開していく予定である。

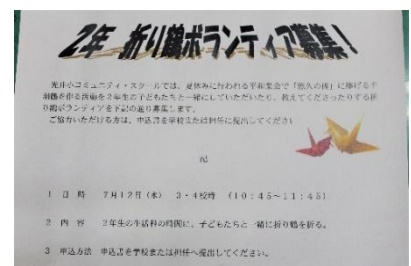
あいさつ運動は、子どもと大人が親密になる手立てともなり、子どもたちにとっては、「地域に見守られている」という安心感を生むものだと考えられる。地域のみんなで子ども

の育ちや学びを支援するという視点から、「みついの日」を民生委員さんへの学校公開日とし、子どもたちの授業の様子を参観してもらっている。継続して行うことで、学校全体や各学級の落ち着き具合や個々の子どもの成長度合を見取ってもらい、見取ったことをもとにした声かけをしてもらうことによって一人ひとりの子どもとの結びつきも強くなってきている。また、課題が生じた際には学校運営協議会等において、学校、地域、PTAが知恵を出し合い、今後の対応策や取組を協議することも考えられる。

本年度は、自然災害等の発生時を想定し、小中合同登校を実施した。小学生の集合場所に中学生も集まり、中学生の誘導で一緒に登校するものである。小学生、中学生双方にとって大変意義のあるものであった。

### (2) 一人ひとりの学力や技能の向上を図る学習支援

子どもたちが、未来を切り拓いていくために、基礎学力の定着は必要不可欠である。学校だけでは、手が足りないときは学校から学習支援ボランティアの募集プリ



ントが配付されるので、P T Aも積極的に協力するようにしている。保護者が積極的に活動することによって、地域の方にもボランティアの輪を広げようとしている。夏休みに個々の学習課題克服をめざす『サマー・スクール』には、保護者・地域の方とともに中学生・高校生もボランティアとしての参加があり、子どもたちはもとより、保護者としても大変ありがたかった。



算数の計算力アップを図る算数チャレンジ週間



サマースクールでの中学生の支援



5年生の家庭科裁縫学習支援



6年生の家庭科ミシン学習支援



PTA図書部による選書会



保護者・地域の方による読み聞かせ



2年生 折り鶴支援

(3) ふるさと「光井」のよさを知り、誇りと愛着を深める活動支援

いつまでもふるさと「光井」を大切にし、ふるさと「光井」の活性化に寄与する人材は、いつの時代でも必要であり、人口減少問題が深刻化する今後は絶対不可欠となる。これまでも学校では、地域の人材、自然、伝統文化、歴史を活用した活動を進めている。今後は、PTA代表も含めた地域教材編成プロジェクト部会で計画的・系統的なカリキュラムが編成されることとなるが、光井小学校の伝統となっている活動もあり、伝統を守るためにも可能な限りPTAとしても支援するようにしている。



6年生 光井のお寺で親子座禅体験



6年生 光井のお寺で親子座禅体験



2年生 どんご体験



6年生 室町文化体験



5年生 田植え体験



5年生 しめ縄づくり

## 光井小伝統的活動



8月の登校日、運動場にある学徒動員で命を落とされた先輩の慰霊碑に全校児童で黙祷後、平和について学ぶ平和学習。地域の方から戦時中の話を聞いている。



40年以上続けられている鼓笛パレード。運動会で披露する他、地域の祭りにも出演している。



40年以上の歴史がある「ひかり太鼓」を継承するため「光井太鼓」として受け継ぎ、地域の敬老会や市内のいくつかの祭りで披露している。

#### (4) 子どもたちの主体的な活動を促す学習支援

子どもたちが主体的に生き生きと活動し、魅力のある学校生活となるように学習支援をするとともに、PTAとしての提案も行ってきた。これまで平日開催であった光井小フェスティバルを土曜日開催とし、PTAバザーを同一日に開催した。また、午後からは、中学校の持久走大会も同日開催とした。子どもたちが創意工夫した学びの成果を保護者や地域の人も子どもたちと一緒に楽しみ、授業終了後、子どもたちはバザーでも楽しんだ。

### 光井小フェスティバル





(5) P T A主催の環境整備作業

豊かな心を育むために美しい環境づくりが大切であることから年間計画で決めている環境奉仕作業日以外にもP T Aが自主的な環境作業日を設け、学校を美しくする取組を進めた。剪定は、秀でた技能をもった地域の方々の協力もお願いした。子どもたちにとって、保護者にとって、地域の人にとって誇れる学校であるためにもP T Aとしてできる作業はこれからも継続していきたい。



PTA自主企画 環境作業ポスター



PTA環境作業日



地域の方も一緒に苗植え



PTA自主企画 玄関前溝掃除



PTA自主企画 年末大掃除大作戦

(5) 子どもたちとともに行う地域貢献活動



中学生・保護者も一緒に地域清掃に取り組むMVP活動



光井川沿い 芝桜の苗植え



冠山総合公園 花の苗植え



## 7 成果と課題

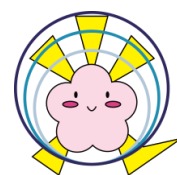
### (1) 成果

月2回「みついの日」にあいさつ運動を実施することにより、子どもたちのあいさつの声は着実に大きくなってきているし、登校態度も良くなってきている。学習支援をはじめ、多くの保護者、地域の方が子どもたちにかかわることによって、子どもたちの地域や地域の人に対する思いは高まってきている。



### (2) 課題

ふるさとを愛し未来を切り拓くたくましいみつい子を育成するためには、学校とPTA組織と学校運営協議会がさらに連携・協働する必要がある。持続可能な組織運営体制を構築し、将来の光井を担う人材育成へもつなげていきたい。



**[CSキャラクター]**  
光梅ちゃん